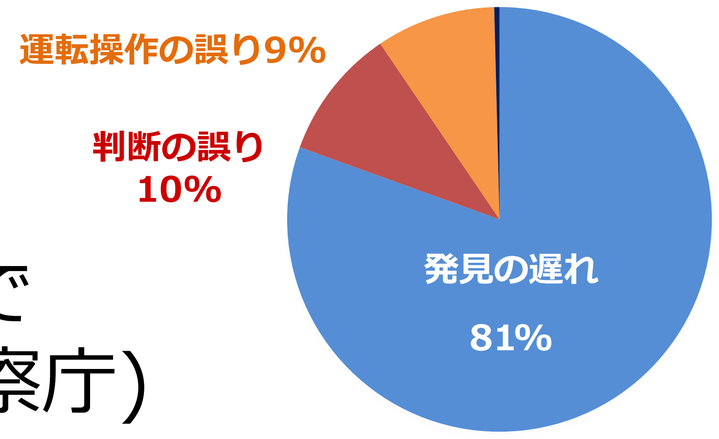
高齢者の自動車運転

運転卒業後の生活を考える



自動車の運転には、交通法規等の知識、判断力、注意力、記憶、視空間認知機能などの多くの認知機能が必要

- 高齢になると視力や聴力など様々な身体機能が徐々に悪化します
- 高齢運転者の交通事故のうち違反内容の約1/3が安全不確認であり、認知症になると違反・事故件数は認知症でない者と比べ**約3倍**といわれています(警察庁)



道路交通法では認知症である者は
運転免許の取消し等の対象とされています

運転を卒業するうえでの課題とメリット、対策

課題

- 通院や買い物、農作業など日常生活に必要
- 移動・行動範囲が狭くなる
- 移動のための交通費がかかる
- 家族や友人に運転を頼むことが気持ちのうえで負担になる
- 長年の経験から、運転技術は問題なく、事故を起こすことはないと信じている
- 運転卒業で自尊心が傷つく

メリット

- 事故を起こす心配がない
- 車の維持費などの費用軽減
- 運動量が増えて健康になる

対策

- 宅配サービスの利用
- おかやま愛カード

商品の割引、公共交通機関の割引
例：路線バス、鉄道運賃(JRを除く)、タクシー)などの各種サービス

加齢による認知機能の低下は避けられません。
いつまで運転を続けるか、免許返納後の生活水準をどう維持するかについて、より現実的に、具体的に考えなければなりません。

川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター